

緑 化 樹 木 の 情 報 誌

緑 化 通 信

2025
6月25日
(年6回25日発行)
第511号



発行所

一般社団法人 日本植木協会

〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-22 三沖ビル3階
TEL:(03)3586-7361 FAX:(03)3586-7577
URL: https://www.uekior.jp/ E-mail: honbu@uekior.jp
購読希望の方は上記宛へお申込み下さい。年間購読料 5,000円



環境に配慮するため
FSC®森林認証紙を
使用しています。



第75回全国植樹祭式典の様子(林野庁提供)



第75回全国植樹祭

埼玉県支部副支部長

(有)栗原緑地
栗原 隆治

令和7年5月25日(日)に秩父ミューズパーク(埼玉県秩父市および小鹿野町)にて、盛大に開催されました。全国植樹祭は、豊かな国

土の基盤である森林・みどりに対する国民的理解を深めるために、公益社団法人国土緑化推進機構と都道府県の共催により開催する国土緑化運動の中心的行事です。埼玉県では、昭和34年(1959年)の第10回以来66年ぶりの開催となりました。

350本は、根巻物。一般招待者用3,650本は、12cmポット)。②スクールステイに使用する苗木約500本を用意し、各学校等に配達、回収すること(県内の小学校、保育園、養護学校等に各6本と穴トレ)。

また、今回、直接に苗木育成等に関わらなかった埼玉県支部会員の方々にも、本事業の趣旨をよくご理解頂き、陰ながら応援して頂いたことに、心から感謝申し上げます。



特別トチノキ



シラカシ

当日は、額賀福志郎衆議院議長、小泉進次郎農林水産大臣、大野元裕埼玉県知事ほか当協会の佐久定規会長、各緑化関係団体など多数の来賓が会場の特設広場で植樹をされました。天皇陛下におかれましては、ケヤキ、トチノキ、スギの苗木をお手植えになりました。

一般招待者は、約3,500人で、当協会埼玉県支部からも5人参加し、会場内の元ゴルフ場跡地にシラカシ、ヤマツツジ、イロハモミジなどを各1本、植樹させて頂きました。3,500本植樹されたフィールドは、若木が立ち並び壮観で、新たな緑が創造された森として、新緑の息吹を感じさせるものでした。

式典は天候にも恵まれ、滞りなく進行し、天皇陛下の今後にも緑を大切に育みたい、とお言葉を頂き、盛会のうちに閉幕いたしました。さて、今回の植樹祭に際して我々当協会埼玉県支部の役割は、①植樹祭本番に使用する4,000本の苗木を用意すること(特別招待者用



令和8年度 協会総会

開催日 令和8年1月28日(水)

会 場 都ホテル京都八条(京都府)

令和7年度 庭園樹部会総会

開催日 令和7年10月7日(火)

会 場 ホテルヴィスキオ尼崎(兵庫県)

令和8年度 コンテナ部会総会

開催日 令和8年1月29日(水)

会 場 都ホテル京都八条(京都府)

令和8年度 青年部会総会

開催日 令和8年2月10日(火)

会 場 大阪ガーデンパレス(大阪府)

令和7年度 第3回理事会を開催

令和7年3月26日(水)13時
から協会会議室において、
理事14名及び監事2名(リ
モート含む)出席のもと第
3回理事会が開催された。

議事の内容は次のとおり。

【審議事項】

○会員の承認について

住友林業緑化株式会社
(代表取締役社長 野口広
行氏)から正会員加入申込
書が大阪支部長及び正会員
2名の推薦を受け提出さ
れ、審議した結果承認さ
れた。

【協議事項】

○令和8年度通常総会議事
次第について

令和8年度通常総会は、
本年1月に開催された令和
7年度通常総会・55周年記
念全国大会のように総会と
式典を分けた2部構成(案)
が提案され、協議の結果、
2部構成(総会審議、表彰

略や排水を造る土木的工事
が進行中である。②当協会
の契約の状況は、「植物の
早期調達・育成管理業務委
託」として、2023年度
アーモンドほか76品種、新
たに2024年度コナラほ
か103品種を契約。③博
覧会協会展出の「江戸花屋
敷」エリアへの協力につい
て、植物供給及び実演役務
の有償協力の予定がある。

申し合わせ事項

通常総会を地方で開催す
る場合、開催都市や会場選
定については担当ブロック

に決定権があるのか事務局
が選定しブロックに依頼す
るのかなど、曖昧な点が
あったことから「理事会申
し合わせ事項」としてガイ
ドラインが提案され、協議
の結果、了承された。

○2027年国際園芸博覧
会の屋外出展に使用する樹
木植物の無償提供依頼につ
いて

各社園の樹木植物のPR
を行うとともに387社園
をこの国際園芸博覧
会にこの国際園芸博覧
会に参加して出展するとい
う動機づけとした旨説明
があり、会員に対して樹木
植物の無償提供の
依頼を行うことに
ついて、了承され
た。

○2027年国際
園芸博覧会の現状
等について

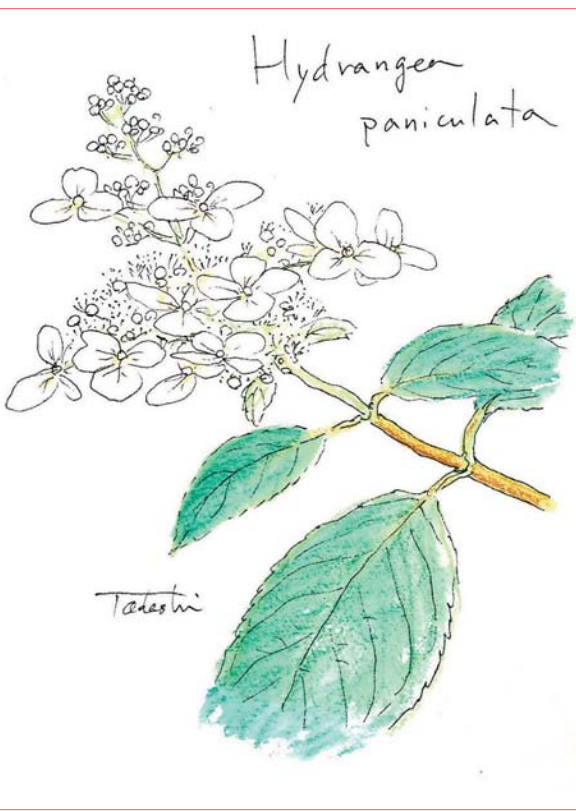
生駒順副会長よ
り、①全体の話と
して、国際園芸博
覧会は、横浜市が
発注し公園を造り
骨格ができた後に
国際園芸博覧会協
会がデコレーショ
ンをしていく。園

略や排水を造る土木的工事
が進行中である。②当協会
の契約の状況は、「植物の
早期調達・育成管理業務委
託」として、2023年度
アーモンドほか76品種、新
たに2024年度コナラほ
か103品種を契約。③博
覧会協会展出の「江戸花屋
敷」エリアへの協力につい
て、植物供給及び実演役務
の有償協力の予定がある。

○「6月5日」の誕生

青年部会担当理事より、
青年部会の提案として、緑
生日の木の種類を一部変更
承された。

育キットのパンフレットを
産婦人科に置いて販売促進
にしたい。また、販売促
進に当たっては、現在の誕
生日の木の種類を一部変更
承された。



「ノリウツギ *Hydrangea paniculata*」は、とても
有名な木なので、皆さん知っていると思います。また、
アジサイの仲間というのも、当然……。でも、
アジサイ属(*Hydrangea*)ではなくなってしまうか
も知れないのです。遺伝子による分類(APG)が進
んでいる弊害?ですかね。アジサイ属ではなくなっ
ても、「ピラミッドアジサイ」とは呼ばれ続けるで
しょうから、アジサイの仲間ですよ。

素描挿話。

～すてきな花達に魅せられて

②8ノリウツギ

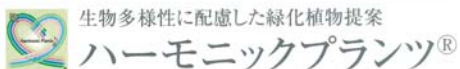
小岩井農牧(株) (岩手県)
たろさわ だし
足澤 匡

「ノリウツギ」は、日本の北海道～九州に自生していますが、樺太、中国、台湾にも自生があり、とても広く分布しています。また、やや湿った山野を好みますが、乾燥する尾根伝いにも自生があるので、適応範囲が広いことが分かります。ただし、日陰ではあまり花が咲いていないような…、夏の強い日差しを浴びて穂状の花序をたくさん咲かせるイメージがありますよね。

樹名の由来は、製紙の際にこの木の樹皮から「糊(ノリ)」を取ったため、また、「空木(ウツギ)」は、枝が中空(ちゅうくう)であるウツギに似ているため。でも、白い穂状の花序を夏に咲かせ、花後も枯れ落ちることがなく、長い期間楽しめるという特徴があるのに、なぜ「ノリウツギ」と命名したのか分かりません。観賞よりも実用性のある特徴に着目し、命名することが多い気がします。少し悲しいです。

ちなみに、ガクアジサイなどと同様、大きな花卉のように見える装飾花の表面には紫外線を反射する物質があり、紫外線を受けると薄紫色に光るそうです。昆虫などにしか見えないようですが…。さらに、受粉が終わると、装飾花は裏返ります。まるで、「もう来なくてもいいよ」と昆虫達にアナウンスしているみたいです。不思議ですね。いろいろと書きましたが、植物に対する興味は尽きませんね。だから、楽しいです。

ハーモニックプランツ



生物多様性に配慮した緑化植物提案
生物多様性の保全を徹底するため、生態系や遺伝子系統に対する影響などを踏まえ、植栽計画地に適した緑化植物を選択しています。当社では、このような生物多様性に配慮した緑化植物提案手法を「ハーモニックプランツ®(調和種)」と名付けました。



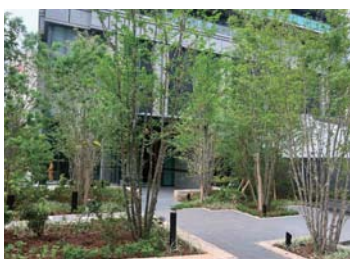
2012年に「ハーモニックプランツ®」は
グッドデザイン賞を受賞しました。

侵略植物は使わずに、自生植物・栽培品種を中心とした樹木選び。

自生植物の例	ヤマボウシ ※ミズナギ	アオダモ ※モクセイ科	イロハモミジ ※カシワ科(ムクロジ科)
侵略植物の例	ランタナ (七変化) ※カタマツバラ科	トウネズミモチ ※モクセイ科	ホテイアオイ ※ミズアオイ科



緑配便®コンテナ



▲ハーモニックプランツ®

▲現場写真

顧客ニーズは年々
多様化しており、
その対応には情報
力が不可欠です。
この度、貴協会に
加入させていただ
き、業界の最新動
向や専門知識、生
産状況などの情報
を協会の皆様と
共有させていただ
ければ幸いです。
弊社としても、
貴協会に加入
させていただくこ
とで、この業界の
継続的な発展に微
力ながら協力さ
せていただく所存
です。
今後とも末永く
ご厚誼賜りますよ
うお願い申し上げ
ます。

新入会員紹介

住友林業緑化(株)

担当者
資材事業部
大阪第二営業部
高瀬健太郎

〒540-6025
大阪府大阪市中央区城見 1-2-27
クリスタルタワー 25 階
電話 06-7639-5954
FAX 06-7639-5964
E-mail TAKASE_kentarou@rk.sfc.co.jp
HP <https://www.sumirin-sfl.co.jp/>

新緑の候、貴協会ますます
すて清栄のこととお喜び申
上げます。
この度、住友林業緑化株
式会社(資材事業部)は貴
協会に新規入会させていた
だくこととなりました。こ
の場をお借りしまして厚く
御礼申し上げます。
弊社は、住友林業グルー
プの一員として、お客様の
多様なニーズに応える「緑
のトータルプランナー」を
目指し、住宅の緑化から都
市環境の改善、樹木・緑化
資材の開発販売(資材事業
部)まで、緑に囲まれた潤
いのある環境づくりを幅広
く提案しています。
資材事業部につきましては
協会の新入会をきっかけに
栽培品種を中心とした樹木
を御礼申し上げます。東京、大
阪、名古屋、仙台、福岡の
5拠点にて約100名の所
員が日々業務に努めていま
す。また、脱炭素への取り
組みとして、「モーダルシ
フト」(トラック輸送から船
舶、鉄道による樹木輸送を
進めています。トラック依
存からの脱却と持続可能な
物流体制の構築はこの業界
においても喫緊の課題だと
思われます。弊社では、オ
リジナルの鉄道輸送コンテ
ナ「緑配便®」を製作し、関
西・関東の大型案件の納品
に使用することでCO₂削減
にも取り組んでいます。
近年、日本国内の樹木生
産量の減少が顕著になって
おり、顧客ニーズに対応で
きない状況が増えつつあり
ます。生産量減少について
は、生産者の高齢化や後継
者不足、毎年起こる天候不
順や災害があげられます。

顧客ニーズは年々
多様化しており、
その対応には情報
力が不可欠です。
この度、貴協会に
加入させていただ
き、業界の最新動
向や専門知識、生
産状況などの情報
を協会の皆様と
共有させていただ
ければ幸いです。
弊社としても、
貴協会に加入
させていただくこ
とで、この業界の
継続的な発展に微
力ながら協力さ
せていただく所存
です。
今後とも末永く
ご厚誼賜りますよ
うお願い申し上げ
ます。

コンテナ部会

ボタニカルジン
「HANAYAGI」を販売開始

花の香、ゆたかな実り、風の通る木陰

HANAYAGI小委員会 委員長 恒石 昌夫

(株)岡宗農園（高知県）



HANAYAGI Spring Edition

HANAYAGIとは木々の華やぐいメージと、言葉の「花や木」を掛け合わせたコンテナ部会オリジナルの言葉です。HANAYAGIジンは、そんな植木の魅力をより多くの方に伝えるため、日本植木協会コンテナ部会が40周年を記念

し2021年に、部会員から見出し、消費者の好奇心を刺激することが出来るのではと思ひコンテナ部会の新事業HANAYAGIプロジェクトとして進めることになりました。HANAYAGIプロジェクトを進めるにあたりまず第二弾のピリット様に送り、ボタニカルを調合して頂いてジンが完成しました。

記念品として始まったHANAYAGIですが、今まで緑化という視点だけで取り扱っていた植物を食や香りに結び付け新たな価値



チシマザクラの花と葉



ネズミサシの実

春ということで春のボタニカルを中心に、ネズミサシの香りを生かした清涼感のある面白い植



ラベンダーの茎葉



ローズマリーの茎葉



エリカの花



ニッケイの枝・葉・根



小夏の果皮

青年部会

日本植木協会を支える
縁の下の力持ち 幹事の奮闘

青年部会幹事 大島 淳一

大島緑地（千葉県）

昨年より日本植木協会の青年部会幹事を拝命し、総務という重責を担わせていただいております。大島緑地の大島淳一です。微力ながら、日本植木協会の発展のため、日々業務に邁進しております。

昨年は、幹事として初めて全国総会の準備に携わることとなり、その業務の多岐にわたることに改めて身が引き締まる思いでした。

会場選定から始まり、参加者の皆様が快適に過ごせるよう、宿泊先のホテルとの交渉、そして円滑な会議運営のための準備など、総務の仕事は多岐にわたります。

会場選びでは、全国各地から集まる会員の皆様にとってアクセスしやすい場所であることはもちろん、会議の規模に見合った広

さ、そして何よりも植木業界に携わる者として、緑豊かな環境を備えていることが重要なと考えました。約1年前より複数の候補地を検討し、それぞれのメリット・デメリットを比較検討する中で、最終的に、神宮球場を見渡せる開放的な空間を持つ会場を選定いたしました。

ホテルとの交渉では、総会会場費はもちろんのこと、参加者の皆様の食事の内容や会場、控室の設備など、細部にわたり協議を重ねました。気持ちよく総会や懇親会にご参加いただけるよう、担当者の方と密に連携を取り、様々な要望を伝えました。



総会

皆様が集まり、活気に満ち溢れていました。受付のご案内、会場整理、プロジェクトや照明の確認など、細心の注意を進めました。予期せぬトラブルも発生しましたが、事務局の皆様や他の幹事の方々と協力し、迅速に対応することができまし



総会前の幹事会（事前打ち合わせ）

了した時の安堵感は今でも忘れられません。参加者の皆様から「素晴らしい総会だった」「準備ありがとう」という温かい言葉をいただき、これまでの苦労が報われたように感じました。今回の経験を通して、全国総会という大きなイベントを成功させるためには、事前の周到な準備と、関係者との密な連携が不可欠であることを改めて痛感いたしました。また、会員の皆様笑顔が、何よりも自身の励みになることを実感いたしました。

日本植木協会は、全国の植木生産者や関連事業者が集い、技術や情報を共有し、業界の発展を目指す団体です。微力ながら、幹事として、会員の皆様が一層活動しやすい環境づくりに貢献していきたいと考えております。今後とも、日本植木協会の活動にご理解ご協力をお願い申し上げます。

また幹事の横田さんの人脈を駆使し(株)RIN代表河島春佳さんをお招きして素晴らしい講演会も行うことが出来ました。

総会、講演会が無事に終



年6回の幹事会 令和6年11月幹事会

学校紹介

未来の業界を担う若者たち

千葉県立市原高等学校

園芸科 緑地管理コース

1 本校の概要

千葉県立市原高等学校は千葉県中央部に位置し、

2 園芸科について

平成31年に旧県立市原高校と旧県立鶴舞校が丘高校が統合となり新生市原高校としてスタートしました。令和8年度に創立100周年記念式典を控え、「地域共創 自主自律」の校訓のもと、将来地域に貢献できる人材の育成に努めています。今年度は、全校で普通科6クラス、園芸科3クラスの編成で、普通科には普通コース「商業コース」「福祉コース」を、園芸科には「野菜コース」「草花コース」「緑地管理コース」を設置しており、それぞれの特徴を生かし、地元企業とのニーズに添えています。さらに令和6年度から千葉県では5校目となる「地域連携アクティブスクール」として再スタートしました。



芝生の管理

3 緑地管理コースの取組
(1) ゴルフ場で即戦力となる栽培管理

市原高校のある千葉県市原市は日本一ゴルフ場の数が多い市であり、「ゴルフの街いちばら」というキャッチフレーズのもと、ゴルフの普及・振興に力を入れています。園芸科緑地管理コースでは、県内で唯一ゴルフ場での管理全般に特化した内容での学習に取り組んでいます。メインは芝の栽培管理で、刈り込み・追肥・エアレーション・目土等の作業を専用の機械や道具を使って行います。芝を伸び過ぎてから刈り込むと、生長点を切ってしまうので、きれいな芝生の維持管理に向けて週に1回はバロネス製の自走式のリールモアを使い、芝刈り作業を行っています。次に生垣の刈り込みです。ゴルフ場にはエントランスや隣地との境界、景観の向上等の目的であらゆるところに生垣があります。それらの生垣の管理に



生垣の管理

用の機械等を使用させてもらうことで、コース管理業務のイメージを明確に持つことができ、理解を深め視野を広げています。毎年数名はゴルフ場に就職者を出すと、進路選択の一助となっています。

(3) ゴルフ場装飾のデザイン及びサービスエリア花壇植栽

緑地管理コースでは草花コースと合同で、パナニックオープンレイダースゴルフトーナメントに向けたコースの装飾を行っています。草花コースが栽培管理した花壇苗を活用し、生徒主体でデザインを考え、デザインを忠実に再現するために試行錯誤して作り上げます。遠くからでも目を引くものになるよう一つの大きな作品として捉え、草花コースは大会に合わせて花を咲かせ、緑地管理コースと合同で装飾するという一大イベント

4 まとめ

毎年多少の増減はあるものの、緑地管理コースはゴルフ場や造園業に就職希望の生徒や、機械の操作等が好きな生徒に根強い人気があり、ここぞが学べないことに生徒一人ひとりがとても充実感を持って取り組んでいます。「ゴルフの街」に誇りを持ち、地域に貢献したいという思いが、緑地管理コースの生徒の心に燃えています。



園芸科緑地管理コース3年生

の基本的な学習を行います。さらに「総合実習」では2年時からコース選択に向けて、野菜・草花・緑地管理の3コースの基礎を体験的に幅広く学びます。これにより入学時に決まっていたコースから希望が



課題研究における竹ベンチの製作

2年時の2学期、3年時の1学期にはゴルフ場の現場研修に行き、バンカーを整備する機械の使い方を実際に操縦して教えてもらうほか、グリーン用の芝刈り機を使わせてもらい、ゴルフ場の実際の管理を体験的に学習します。緑地管理コースでもゴルフ場と同様の機械を導入し、日々ゴルフ場のコース管理において即戦力となるよう技術を磨いています。実際にゴルフ場を管理している大型の乗



浜野ゴルフクラブでの花装飾

緑育出前授業実行委員会

みどりとふれあうフェスティバル2025参加報告

令和7年5月10日(土)～11日(日)に高尾599ミュージアム(東京都八王子市)にて「みどりとふれあうフェスティバル2025」にワークショップ「こけ玉作り」で開催された。

参加者

10日：須崎剛史氏、石井新次氏、小林祐輔氏、黒田晴彦氏、西郷純一氏、グンゼグリーン(株)(三井大輔氏、今村征哉氏)、事務局木谷・中村
11日：佐野栄信氏、清水謙一氏、持田瑛太郎氏、石井達也氏、横田圭一氏、黒田晴彦氏、西郷純一氏、グンゼグリーン(株)(古道潤氏、松井啓祐氏、角田知穂氏)、事務局中村

実施目的

協会事業として協会のピーアール、緑育、緑の普及、植木の購買に繋げる、将来の植木業界の向上を目指すことを目的とする。

実施内容

①こけ玉作り体験

10日は、くもりや霧雨の天気でしたが、25名の方がこけ玉作りに参加してくださいました。11日は天気も良く、35名の方がこけ玉作りに参加くださり、忙しく皆様にご協力いただきました。両日も、全体の3/4程が子どもの参加者で、1回体験してまた来る子が2人もいたのには驚きました。

②「365日+1日の誕生日の木」のパネル展示

とても人気があり、立ち止まって見ていく方が多く、体験した方の何倍もの方が協会のブースを見たりと、誕生日の木を通して緑化啓発と協会PRが出来たと思います。

③「木への漢字パズル」体験

親子や3世代で楽しんでいました。漢字を考える大人より、パズルの形から入る木への漢字を知らない子どもの方が早かったです。

④こけ玉に植栽する苗木

ゲッケイジュ、フェイジョア、シマトネリコ、イロハモミジ、常緑ヤマボウシ



ルポ

シリーズ 社園さん紹介 No.28

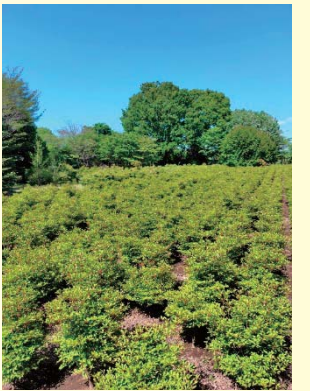
鈴木牧場

栃木県(大田原市)

植木屋を続けたのは子どもを育てるため！母は強し！7年前に社長だった旦那さまを不慮の事故で亡くして、どうしていいかわからず、“無理無理”と言いつつも無我夢中で植木屋を続けて、今では立派に軌道に乗せ、現在は新しい家族で頑張っている明るい女性社長の鈴木愛子さんを紹介します。



ツツジ



ドウダンツツジ



園場



愛子さんの趣味のお庭をいつも窓から眺めているキナコちゃん

社園名が鈴木牧場と牧場が付いてますが…。

社長の愛子さん：「60年前に義理父が鈴木牧場を立ち上げ、義理兄は東京で畜産、次男の夫は栃木で植木生産をしてましたが、義理父が亡くなり畜産は辞めて植木生産だけ続けてきました。ですから鈴木牧場の名はその名残です」。

今はどんなものを生産しているのですか？

愛子さん：「ドウダンツツジは昔から沢山作っていましたが、現在はヤマボウシ、カツラ、ヤマモミジ、ヤマツツジ、オオモミジ、イロハモミジ、ヒメシャラ等、中高木の落葉樹や常緑樹のモミノキを生産しています」。

愛子さんもずっと植木の仕事をされていたのですか？

愛子さん：「私は子育てが中心でしたが、当時は隣で夫の仕事はずっと見ていました。アシスタントとして出荷前の枝を枝折（しお）ったり、根本を掻いたり、一輪車に植木を載せて運んだりする程度でしたが、唯一、50cm程のドウダンツツジだけは、掘って根巻まで出来ていました」。

亡き旦那さんの後を引き継いで、植木屋さんになったのですよね？

愛子さん：「7年前に木から落下し、夫を亡くした時はどうしていいのかわからず、ただただ茫然としていました。素人の私が植木屋さんを続けるなんて絶対無理と思っていましたが、亡くなったのが4月で、夫が出荷しようとして掘り上げていた植木が何百本と土場（出荷場）にありました。だからまずはこの植木を畑に戻すか、捨てるか、売るかを選択だったのです。結局、捨てるにも捨てられず、ひたすら畑に戻しました。ただ、その植木を畑に運ぶにもクレーンを使用しなくてはならなかったもので、すぐに5月には小型移動式クレーン免許を取得しました。幸いにも見よう見まねで車両重機の免許もすぐに取得できました」。

なぜ植木屋さんを続けようと思ったのですか？

愛子さん：「夫が亡くなった後、すぐに従業員さんに辞めてもらい、借地を返却し、これで植木から解放された！と思った矢先、枝が伸び過ぎて近隣の方から苦情が来たんです。雑草も半年経つと1.5mもの背丈になるので、結局、畑をきれいにするために植木の仕事を続けたんです。

それに息子が学区外の中学校の相撲部に入学してい



笑顔が素敵な社長の愛子さん

たため、夜間練習もあり車で送迎しなくてはならず、普通の定時のお勤めは出来ませんでした。だけど子供たちを食わせなくてはいけないので、畑にある木を売ろうと思ったんです。泣いている暇はなく、朝から暗くなるまで1人で畑の仕事をし、19時から買い物に行って20時に3人で夕食の日々でした」…母は強いですね。

子どもを育てなくちゃ！という使命感ですね。

愛子さん：「はい。それに支部の方が、気に掛けてくれたんです。支部の(有)那須緑地さん、善林園芸さん、当時支部長の(有)みどり産業さん、(株)坂口植物園さん、昔からお世話になっていた(有)染谷植物園さんなどからアドバイスを頂きました。支部の方、先輩にはとても感謝しています。

ある時、支部長さんが“今後どうします？”と、協会の退会届を持って来てくださった時に、逆に私が“私、どうしたらいいんですか？”って聞き返したら、“続けるなら、まず苗木を植えない”と言われてました。すぐにイロハモミジの苗木1,000本をアルバイトの方と素人2人で植えて、後に出荷出来たんです。あの一言がなかったら今はないです」。

根巻は一人で出来たのですか？

愛子さん：「私は出来た！と思って出荷したんです。実際は皆さん“ええー？”という感じだったようですが、“根巻上手くなったね”と、巻きがふわふわ、ゆるゆるでも黙って買ってくれました(笑)」…もしかして再度巻き直していたかも？と、今だから笑える話です。皆さんもご苦労を見ていたからこそ、ふわふわでも買ってくれたんですね。植木屋さんは優しいですね。

ずっと一人で出荷していたのですか？

愛子さん：「元従業員さんが休日の時や、今の夫が手伝いに来てくれて高木等を出荷していました。常に出荷に追われていたもので、7年経った今、ある方に“はげ山”と言われて、慌てて沢山の苗木を植えてきれいにしました(笑)。多くの方に出荷時の枝の枝折り方、根鉢の大きさ等、何でも教えてもらいました」。

旦那様にお聞きします。サラリーマンを辞めて植木屋さんになったんですよね？

旦那様の俊夫さん：「はい。知り合ったのは、那須緑地さんにお世話になってた頃でした。結婚して企業でサラリーマンを5年間勤めて、平日は職場、週末は植木業をし、忙しい時は有給休暇を使用して植木業をしていました。でも、苗木を沢山植えて畑をきれいにしたいというお互いの思いや、妻に少しでも楽をさせてあげたくて、今年3月末に退職し本格的に植木業を始めました」…お休みなく働いてくれる優しい旦那様ですね。

愛子さん：「とっても優しく働いてくれる夫です(笑)。それに器用で何でも出来ちゃうんです」…と2人で幸せそうに話してくれました。

息子さんに植木屋さんを継いでもらおうとは思わなかったのですか？

愛子さん：「私の今の経営状態では不安定過ぎて、息子に継がせようとは思えなかったんです。息子も一度は後を継ごうと考えたようですが、警察官という自

今後の目標は？

愛子さん：「畑10町歩のうち、2町歩がまだ手付かずなので、2人で仕事の傍ら、荒れた畑を整地して苗木を沢山植えて元のきれいな畑に戻したいです。

あと、今まで皆さんに助けてもらった分、今は支えてくれる夫と2人で頑張っ、いい木を作っていきますので、今後ともよろしくお願いします」と感謝の気持ちも語ってくれました。

お嬢さんにお聞きします。看護師さんになったきっかけは？

お嬢さんの花さん：「以前介護士だった母の勧めと、医療系のテレビや、職業体験の発表で先生に選ばれたことがきっかけです。以前は外科で働いており、手術後のケアも大変でしたが、今は血液内科と化学療法科の配属になり、どちらも看護の難しさを感じています。常に患者さんの気持ちに寄り添えるような看護師になれるよう頑張っています。看護師は元気でいることが大切なので、休日はヨガやボクシングで汗をかい、体力づくりに励んでいます」。

花さん：「今も母には頭が下がります。感謝ばかりです。私はこの国家試験の看護師の資格を活かして、少しでも親孝行が出来たらいいなと思っています」…素敵なお嬢さんです。

最後に趣味をお聞きします。

愛子さん：「毎朝の庭いじりです。畑とは違って、つぼみを見れば花が咲く！の変化を楽しんでいます。他には温泉好きで、特に実家近くの秋田県八幡平の玉川温泉が大好きです。先日夫に5時間も運転してもらい行ってきました」。

俊夫さん：「DIYです。家族が困ってるものは何でも作ります(笑)」…愛子さんと花さんが口を揃えて、俊夫さんのことを何度も優しいと言っていました。

花さん：「私はイラストを描くことが好きで、友達のwelcomeボードや両親のイラストもプレゼントしました」。



左から旦那様の俊夫さん、鈴木愛子さん、お嬢さんの花さん



花さんが両親にプレゼントした当時のそっくりなイラスト



大きなモミノキ畑



先代が挿し木から育てた玉ドウダンツツジ



俊夫さんがDIYで作った本格的鉄門
愛子さんの“重機盗まれたら困るなー”の一言で、直ぐにホームセンターに行って鉄の四角い6mパイプをカットして溶接して製作。毎日夕方1、2時間作業して2か月ほどで完成させた重い立派な鉄門です

連載「多肉・珍奇植物」

第13回 愛嬌あるフォルムと渋いテクスチャが魅力、普及の牽引役も果たしたハオルチア(硬葉系)

東京都市大学環境学部教授 飯 島 健太郎



◆プロフィール

東京都市大学環境学部教授。桐蔭横浜大学工学部専任講師、同医用工学部准教授を経て現職。博士(農学)。日本造園学会賞／研究論文部門受賞、東京農業大学造園大賞受賞。著書:『新しい都市緑化・ガーデニング材料／多肉植物』(ソフトサイエンス社)、『サボテン大好き』(講談社)、『多肉植物の名前400がよくわかる図鑑』(主婦と生活社)、『サボテン全書』(監修、グラフィック社)、『多肉植物全書』(監修、グラフィック社)など。

ビジュアルプランツ人気の牽引役としてはハオルチア軟葉系の存在が目立つが、古くから多肉植物の存在を広く知らしめるべく普及に貢献してきたのは硬葉系と言ってもよい。それは戦前のカタログや番付表にもさかのぼる。『シャボテン総目録』(光栄園、昭和8年発行)には、龍の爪、松の霜、鷹の爪、十二の巻、松の雪、龍鱗など、ハオルチアの中では軟葉系よりも硬葉系の種が目立つ(写真1)。中でも十二の巻(*Haworthia fasciata* 写真2)は、昭和時代から今日まで常に安定的な生産対象となっており、最も愛培されてきた存在である。ハオルチア硬葉系の特徴は硬い三角形の葉が放射状につき、軟葉系のような透明な採光窓がないことである。しかしその特徴だけにフォーカスすると近い系統のアストロロバ属各種が酷似しており、多肉植物ブームで流通量が増えてくると同時に同属の五重塔(*Astroloba deltoidea* 写真3)が「ハオルチア・五重塔」として流通するなど一部に混乱も認められる。実際にアストロロバ属をハオルチア属に統合する議論もあったとされるが、系統解析や花の構造の違いなどから必ずしも極近縁とは言えず引き続き独立したものとされている。ハオルチア硬葉系は小型ながらシャープでスタイリッシュなフォルムを持ちつつ、品種ごとに緑色の濃淡とともに形態、模様にも個性がある。特に濃緑色の葉に斑や白色の模様が入るならば、その際立ったコントラストが美しい。硬葉系は群生しながら立ち上がる種が多く、怪物や爬虫類のような風情、あるいはその手足や爪のような姿の品種もある。その性質が丈夫であることから、昭和時代から多肉植物の入門編として愛好されてきた。原産地は南アフリカのケープ地方に集中する。

硬葉系の代表選手「十二の巻」について、Googleトレンド機能による検索傾向を見てみると、ビジュアルプランツ人気以前から一定の関心の対象であることが分かるが、2020年に顕著なピークが認められる(図)。この頃からGreenSnap(花や緑のWeb上のコミュニティ)への投稿などSNS上に「十二の巻」の画像、栽培や開花報告が頻繁に投稿されていること、コロナ禍の家庭時間の増大とガーデニングブームの時期であったことなどの相乗効果で、育てやすい十二の巻が着目された可能性がある。白い縞模様が特徴的な硬い葉を持ち茎はなく、根生する多数の葉がロゼットを形成する。葉の裏側は膨らんでおり、その表面には多数の結節が生じてそれが横に連なって隆起する。一見すると白い横縞模様が多数あるような姿で



写真1 『シャボテン総目録』(光栄園、昭和8年発行、筆者所蔵)



写真2 十二の巻



図 Googleトレンド機能による「十二の巻」の検索傾向

あるが、これをより際立たせた品種「ワイドバンド」は極めて美しい(写真4)。ケープ州に分布するが、日本への渡来は昭和初期とされている。その普及と流通から今や多肉植物としてではなく一般的な観葉植物としての市場価値がある。

怪物のツメのような、爬虫類の皮膚のような独特の姿、模様を持つ普及種としては、九輪塔(*Haworthia reinwardtii* var. *chalinii* 写真5)が知られる。葉はずんぐりと短く縦に展開し、全体としては「塔」のように発達するタイプである。葉の裏側は膨らみ、白色の小さなドットが規則正しく並んでいるがあまり目立たない。十二の巻と共に昔から普及しており、丈夫でよく増える。東ケープ州に分布する。

ハオルチア硬葉系には渋い陶磁器のような風情を持った種類も多い。中でもハオルチア・ニグラ(*Haworthia nigra* 写真6)は、あまりに地味であるが、眺めるほどに情趣あふれる。種小名にもなるほどの黒い色彩とその表面のイボイボの肌が特徴。鮫肌のようなザラザラした表面であることから、「黒鮫」という和名が当てられている。極小型種であり、東ケープ州のカルー地帯に分布する。

ハオルチア硬葉系は、メジャーな軟葉系に比べると地味で渋い存在であり、一部を除きその育種や増殖、普及、流通も活発ではない。軟葉系のような際立った高価格帯の品種群を有するわけでもなく、これまで良くも悪くも「駄もの」として普及してきた一方、ベテランの温室ではあまり見ることは無い。サボテン・多肉植物の生産農家では、入門編の多肉植物の一つとしてしばしば2寸鉢で生産されているが、ガーデンセンターやホームセンターの棚に並べられた際には、カラフルな葉ものやユニークなフォルムの多肉植物に紛れて、一層地味な風情を醸し出している。非常に丈夫であり、長期間栽培するほどに群生すること、ロゼットのフォルムが寄せ植えのデザインにも有効なこと、他の多肉植物に比較して低照度に適応していることなど、生活空間を豊かにする鉢物として積極的に活用したい素材である。



写真3 アストロロバ属・五重塔



写真4 十二の巻ワイドバンド



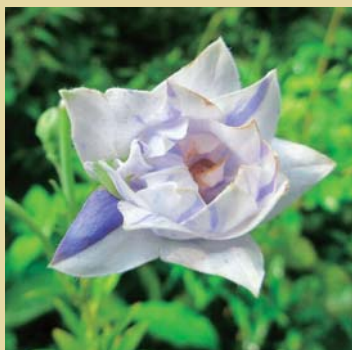
写真5 九輪塔



写真6 ハオルチア・ニグラ



三重



紫絞り



紫絞り三重



紫四重



二重



小町



あすき小町



白



白小町



第4回 コスモス

しまだ ゆきこ
咲くやこの花館 島田 有紀子



◆プロフィール
広島市植物公園勤務ののち、現在は大阪市の咲くやこの花館に勤務。大阪府立大学大学院農学生命科学研究科修了。博士（農学）。ペラルゴニウム属やペゴニア属などの鉢花や草花一般に造詣が深く、特に変わり葉ゼラニウム研究の第一人者。『NHK 趣味の園芸』の番組・テキストや、各地での講演など家庭園芸ファンへの普及に日々努めている。『NHK趣味の園芸 12か月栽培ナビDo 花苗をふやす タネまき・さし木・株分け』など著書多数。

盛夏もまだ迎えていないうちから秋をイメージなんてできないと思いますが、園芸の世界では秋への準備は今から始まります。

青く澄んだ秋空の下、公園や休耕地など広大な土地でそよそよと揺れるコスモスの姿は日本人にとって心なごむ風景です。儚げな外見とは裏腹に、コスモスは放任でもよく育ち、風通しの良い所であれば病害虫の発生が少なく、手間がかからないため、こういった場所にうってつけの植物です。

本来、コスモスは一日の夜の長さが約11時間以上続かないと花芽をつくらない短日植物で、かつては夏に種子を播いて秋に花を咲かせるのが一般的でしたが、1930年代にアメリカで‘センセーション’という品種が誕生したのをきっかけにコスモスの世界ががらりと変わりました。短日開花習性を失った品種だったのです。つまり、短日開花性があると、播種時期にかかわらず、開花は日が短くなる秋になるのですが、その性質がなければ、播種から一定期間で開花するようになります。



コスモスのミニ仕立て

春に播種すれば夏に開花しますし、晩秋以降に播種しても加温栽培すればクリスマスや正月でも花が見られるというわけです。まさにセンセーションを巻き起こした品種でした。その後もこれをもとに品種改良が進み、現在は日長の影響をほとんど受けずに開花する早咲き（早生、夏咲きともいう）品種が主流となり、アンティークな色合いやシックな赤色、八重咲きや筒咲きなど、花姿のバリエーションも豊富です。一方、従来の遅咲き（晩生、秋咲きともいう）品種にも、丈夫で開花期間が長いというメリットがあり、秋の風景にはよく使われます。ただ、遅咲き品種は本来のコスモスが持つ短日開花習性をそのまま受け継いでいるので、6月に播種すると、短日になるまでずっと成長し続け、草



コスモス‘イエローキャンパス’

丈が人の背丈を超えるほど高くなって秋に開花します。逆に8月以降に播くと、膝丈ほどで開花します。

栽培で注意したいのは場所です。遅咲き品種はもちろんのこと、早咲き品種も短日開花習性が少しは残っているため、近くにガーデンライトや街灯などがあると、日が長いと勘違いして花芽をつくる

スイッチが入りません。植栽場所や鉢の置き場所を確認して、蕾が確認できるまでは夜という暗期をしっかりと感じられるようにすることが重要です。

ところで、1980年代に日本の玉川大学で、‘イエローガーデン’という遅咲き品種が生まれ、世界初の黄色の花として大注目を受けました。続いて遅咲き品種の‘イエローキャンパス’や‘オレンジキャンパス’など、黄色に加えてオレンジの花色も登場し、紅葉の秋にぴったりの景色が演出できるようになりました。

なお、背丈ほどに伸びる壮大なコスモスを遠目に眺めるのもよいものですが、街角や家庭の小スペースやコンテナではコンパクトな姿を楽しみたいものです。コスモスの魅力は、開花特性を知って品種を選び、播種時期を変えたり、摘心を行ったり、植え方を工夫することで、咲かせたい時期に咲かせたい姿で自由自在に楽しむことができる点にあると思います。

どこか郷愁を誘うロマンチックな花と風にそよぐ姿、この夏は種子を播いてコスモスを愛でませんか。



コスモス迷路（広島市植物公園）

告知：NHK 趣味の園芸「ステキをセレクト！ タネから育てるコスモス」

講師 島田有紀子

2025年7月20日（日）8：30～8：55 放送 E テレ

2025年7月25日（金）14：10～14：35 再放送 E テレ



日本列島植木植物園

ナショナルプランツ コレクション*

問い合わせ 川原田邦彦 確実園芸場（茨城県） ☎029-872-0051

ききょう（桔梗）

秋の七草のひとつに数えられる桔梗。秋の七草では「朝顔」となっていますが、このききょうを指すということが一般的な考察です。本来は秋の宿根草ですが、近年出回るききょうには、改良されて、春の5月に開花する品種もあります。

淡い青紫色の基本種や白、ピンク、絞り咲きなどが品種として知られていますが、さらにあずき色、紅絞りや外弁が青い品種。二重、三重、四重、また花が開かない小町などの品種もあり魅力がいっぱいです。

新樹種部会の顧問をお願いしている東京農業大学名誉教授 安藤敏夫先生が、東京オリンピックに合わせて、開花時期が基本種に近いものを育種していました。



キキョウ



あずき二重



ピンク二重



ピンク三重



ピンク四重



ピンク小町



絞り



絞り二重



紅絞り



紅絞り二重

*ナショナルプランツ コレクションとは、世界的に価値のある植物の種・品種等を属のレベルで集め、植物の多様性の維持や希少種・絶滅危惧種の保護に役立てる事を目的としたコレクションです。

日本列島植木植物園運営委員会

研修報告 神奈川方面
(藤沢市・横浜市)

委員長 古川 和生
古川庭園園(大阪府)

日本列島植木植物園運営委員会の令和7年度視察研修を6月3日(火)～4日(水)に開催し、藤沢市と横浜市の協会員さんの圃場7か所を参加者38名で視察する研修を実施しました。中型バスに乗り切れない程の参加者で急遽レンタカーも用意し



相模園にて

女性の方や若い方は多くの方と名刺交換をされたり、協会理事の方も多く参加して下さり、2日間の内容の濃い研修が実施できました。至らない点もあつたと思いますが、来年度も日本列島植木植物園運営委員会では研修を企画しますので、会員の皆様、どうぞご参加してください。引き続きよろしくお願いいたします。

研修報告

相模園と英樹園

両社園様は圃場が隣接していることから、相模園の漆原陽平様、英樹園の漆原智史様のお二人の案内で圃場を視察させて頂きました。圃場では、モッコク、シイの大径木やシダレヤブ、アオキの自然樹形の高木など、珍しい植木を見ることができました。また、相模園様のハウス内ではガズミやレモンの高木などがストックされており、それぞれの特徴や性質などを説明して頂きました。ハウスの横では常緑ヤマボウシが咲きこぼれるほどの花をつけており、とても華やかでした。雨足が強くなり、足早な圃場視察となったのが残念でした。

熊山園

熊山園の熊山将敏様に案内して頂きました。圃場には手入れの行き届いた仕立物のマキ、マツの大径木、モチの台株などの庭園樹が多数あり、圧巻の圃場風景でした。所々植え込まれたエナニシキの葉も周り



高橋緑化園



熊山園



米屋農園



(有)古屋植木

と話しておられました。また圃場内の設備でも高橋さんご自身で水道管を埋設し、灌水設備を設置したり、車両コンテナにクーラーを取り付けて夏場の芝生などのストックなどに利用しておられ、色々な面でアイデアマンの植木屋さんでした。

米屋農園

米屋農園の小山達也様にも圃場を案内して頂きました。最初に先月テレビでも紹介されたオリーブの古木について話を聞かせて頂きました。10～11月頃に生産地に向かい、材検、買い付けをし、3～4月頃に輸入をし、その後、圃場に植え付けをするとのことでした。商品として販売するには、約2年の年月が必要だそうです。



持田植木にて

また、オリーブはゾウムシの害虫があるため、敬遠

されるユーザーもおられますが、メンテナンスで防除できるので、機会があればぜひ使って頂きました。その他、圃場にはアシの木など多種、近年需要が高まっているトキワエゴなどの中低木も多数植えこまれています。

代表者変更
▷(新) 近藤盛太郎 (有)小田原植木(神奈川県)
▷(新) 池田智範 (旧) 濱松陽一郎 グンゼグリーン(株)(兵庫県)
▷(新) 國忠高広 (旧) 國忠征美 グローバルグリーン クニタダ(岡山県)

住所変更
▷(有)KKRGS-Y (新) 鹿児島県曾於市末吉町諏訪方9347-3

退会
▷郡山農園 (鹿児島県)

訃報
▷柏木生江 様(柏木武司氏のご母堂様) 柏木園芸(神奈川県) 令和7年4月30日 享年101歳

お知らせ

「環境緑化樹木識別検定試験」

1. 日時・場所 令和7年7月5日(出) 13:00～15:00 東京農業大学 1号館111教室 東京都世田谷区桜丘1-1-1

2. 受験料 一般8,250円 学生4,400円

3. 造園 CPD プログラム認定申請予定

令和7年度 都道府県別 供給可能量調査 開始案内

全支部の提出に向けご協力をお願いします。

期間: 令和7年7月1日(火)～7月31日(木)
※6月下旬に入力用システム搭載のCDを支部長及び各支部IT委員にお送りし、それをもとに入力します。
※調査結果は協会ホームページで公開し、官公庁及び造園関係団体の材料調達時の参考にしていただいています。

令和7年度 社園別生産数量調査 開始案内

全社園様の提出に向けご協力をお願いします。

期間: 令和7年6月25日(水)～7月20日(日)
※詳細は6月号緑化通信に同封する別紙「入力マニュアル」でご確認願います。

生産数量調査代行入力について

生産数量調査について、エコスに代行入力を依頼する場合は、代行入力は入力1件につき70円の有償です。希望される方は下記にご連絡下さい。

エコス 大島 寿裕
(Tel) 045-309-0018
(Mail) sp_ohata@daiary.ocn.ne.jp

令和7年度 植生アドバイザー 育成講座 詳細は申込用紙

講座は全3コースで構成されており、環境省と農水省共管の「人材認定等事業」の育成事業として登録されています。

1. 日時: 令和7年8月28日(木)～8月30日(土)および事前・事後ビデオ講習

2. 内容: 1年目「A 植生調査基礎コース」、2年目「B 植生景観基礎コース」、3年目「C 植生復元・モニタリングコース」

3. 講師: 植生学の専門家の先生方

4. 開催場所: なかのビレジ(群馬県利根郡川場村中野626)

5. 受講料: 協会員60,000円、協会員以外

65,000円(7月31日(木)までの早期お申込みの方は63,000円)、※受講料は税込、研修費・宿泊費を含む

令和7年度コンテナ部会研修会【部会員限定】

コンテナ部会ではEXP02025大阪・関西万博及び大阪梅田駅周辺の再開発地域の植栽を視察する研修会を開催します。

1. 日時: 令和7年7月9日(水)～10日(木)

2. 宿泊先: JR 大阪環状線福島駅最寄りホテル予約済

3. 移動手段: 観光バス

会員動向

お詫び
緑化通信4月号にて代表者変更に関する誤りがありましたことをお詫び申し上げます。申し訳ございませんでした。
訂正
▷(株)備藤園(埼玉県)
代表者: 備藤泰充 担当者: 備藤貴大